

二月は如月 暦の上では立春を迎える月ですが、厳しい寒さが身にしみる季節。だから着物を更に重ねて着るほどの季節。着更着とか衣更着ということだそうです。

初午というのは、二月の最初の午の日で、稲荷神社のお祭り日です。総本山は京都の伏見稲荷。

稲荷とは、稲生りで、やがて万物が芽吹く春の前に、田の神にその年の豊作を祈る村祭です。

この稲荷の神は馬(牛)に乗って現れるから初午という説もある。馬というのは、民俗伝承では、神をわが田や畑や、わが家に迎えてくれる乗り物でした。また馬は、農耕にとっては大変な労働力です。絵馬というのは、その大切なうお馬を献上するかわりに、鎌倉時代ごろから、馬にかたどった人形や絵に画いた馬(絵馬)が代用されるようになったという。大切な馬を献上するとは、そこに必死の思いがこめられているという事です。

稲荷については、次のような説もあります。稲荷の「稲」という漢字は、命の根・命の根



もともとハス、別名『蓮華』のこと。なので、稲荷の「荷」は、蓮華であり、仏教にいう『蓮華蔵世界』ということ。ハスは、地上からは見えない池の底の泥土の中にある蓮根という根源の世界から、池の上に真っ白な花を咲かせて実を結ぶ。この地上には沢山の自然があり、人々がいるけれども、それらは個々

別々に存在しているのではなく、根源なる一つの生命に生かされている兄弟姉妹のようなものである。根源世界の理想を現象世界に創造するのを助けるために、全国津々浦々にまで行き渡って、自然や人々を守り導いているのが、稲荷の神の働きだそうです。

【節分】二月三日

【立春】二月四日

【針供養】二月八日

二月八日はその針を使う「事始め」で、十二月八日は「事納め」の日。江戸時代には女性の大切な年中行事でした。この日は針仕事を休み、日ごろ裁縫に使って折れたり曲がったりした針を、豆腐やこんにやくなどに刺し、仏や神棚にあげて供養し、川や海に流しました。針に対しての感謝祭ですが、あわせて針仕事の上達を祈願する祭。他に筆供養などもあり、物を大切にしている日本人の心が窺われます。



【建国記念の日】二月十一日

神武天皇の橿原で即位された日本の国の誕生日です。昔は『紀元節』と言いました。



「六合を兼ねて都を開き、八紘を掩ひて宇と為むこと、亦可からずや。」意味は「すべての国の民族の個性を生かしつつ、すべての人が一つ家の家族のように仲良くしましょう！」です。この八紘一字の建国の理想は、二二六代今上天皇まで、二六八〇年間、今も生きています。

【伊勢神宮祈年祭】二月十七日

「年」は年に一回収穫する稲を意味し「としごひ」と称する祭。年穀の豊穰、産業の発展ならびに国家隆昌を祈る祭儀。宮中でも祈年祭をされるが、伊勢神宮へは勅使が参向します。

子どもを育てる魔法の言葉

ドロシー・ローノルト

- けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
- とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる
- 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
- 「かわいいそうな子だ」といつて育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
- 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる。
- 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
- 広い心で接すれば、キレる子にはならない
- 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
- 認めてあげれば、子どもは、自分を好きになる
- 見つけてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
- 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
- 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
- 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
- やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
- 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
- 和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



ウルトラマン いっしょにかいたよ うめのじを
かじゅうも いっしょにみていたよ

年少 Y・K

☆初めての書道。正座して書いてすばらしいですね。

まつぼっくり みつけたよ 123

それからね かいものにいつて

おてつだいしたよ

年中 K・Y

☆祐大君は、お手伝いが上手で、えらいですね。



てらこやで すいせんのはなにおったよ

ちよっとくさかった いいにおいだった

年中 N・Y

☆すいせんの花は、きれいししい匂いもしますね。



てらこやで すいせんの花 かざってる

シャンプーみたいな いいにおいする

小学一年 M・S

☆たしかにシャンプーみたいな匂いですね。

すいせんは 食べたらだめだよ てらこやで

おしえてもらった なんだろう

すいせんのはなのおいは くさかった

くきの下から水が出てたよ

小学二年 K・S

☆寺子屋で教えてもらったことをよく覚えていま
すね。

お習字で 「平和」という字を書いたよ

三まい目で書けた うれしかった

三年 N・E

☆とても気持ちよく、力強く書けましたね。



少しずつ 春が近づき 風が吹く

新しい年 今日は新月

六年 Y・Y

☆旧暦のお正月という朝のお話をよく聞いていま
したね。



お習字で 難しい漢字を書いたけど

きれいに書いて うれしかったよ

お母さん 来たしゅんかんに あまえモード

態度を変える ゆうちちゃん

中一年 N・K

☆筆を立てて楽しく書道ができましたね。

声に出してひびきを味わおう

今月の言葉

万葉集 卷五・八二二

おおもものたびと
大伴旅人

わ その
我が園に

うめ はなち
梅の花散る

あめ ゆき
ひさかたの

なが く
天より雪の

流れ来るかも

(大意)

私の庭に梅の花が散っています。

あたかも天から雪が流れ来るかの
ようです。

次回三月二十八日(土)六階和室です。

(藤波礼子)

